

# 月例、景気は「緩やかに回復」 経産省の6月景況判断は「引き続き回復傾向」

## 中小企業製造設備動向も2年連続で増加

6月15日に関係閣僚会議に提出された6月の月例経済報告は、景気は「弱さを脱する動きがみられ、緩やかに回復している」とし、景気の基調判断を2004年7月以来、11カ月ぶりに上方修正した。経済産業省が6月20日開いた拡大経済産業局長会議も、6月の全国の景況判断を「引き続き回復傾向にある」とし、2月の「踊り場にある」との判断を上方修正した。6月16日発表の中小企業金融公庫の中小製造業設備投資動向調査によると、04年度実績は前年度実績比23・2%増と2年連続で増加した。一方、経済同友会が6月21日発表した景気定時点観測アンケートでは、原油高による原材料の高騰で、経営に影響が出ている製造業が7割にのぼった。5月の貿易統計(速報、財務省、6月22日)によると、貿易黒字は前年同月比68・3%減の2970億円で、2カ月連続で減少したのも懸念材料である。

### 踊り場脱却の動き

竹中平蔵・経済財政担当相は景気の基調判断に関して「弱さを脱する動きがみられ、緩やかに回復している」とする6月の月例経済報告を関係閣僚会議に提出した。個人消費や雇用情勢が改善していることから、前月の「一部に弱い動きが続くものの、緩やかに回復している」との判断を上方修正した。竹中担当相は記者会見で「景気は年央に向かつて踊り場脱却の動きが見られると期待し

てきたが、そういう動きに向かいつつある」と述べた。

日銀は6月の金融経済月報(6月15日発表)で「IT(情報技術)関連分野における調整の動きを伴いつつも、基調としては回復を続けている」として、前月の判断を据え置いた。先行きについても「景気は回復を続けていく」との見方を維持している。

7-9月期は  
プラス11・3

財務省と内閣府が6月

23日発表した4-6月期法人企業景気予測調査によると、企業の景況感を示す景況判断指数は、大企業全産業でプラス0・9となった。先行きの7-9月期はプラス11・3、10-12月期はプラス11・8となっている。今回の調査時点は5月25日。05年度の設備投資は、全産業ベースで前年同期比プラス8・1%の計画、經常利益は同プラス8・6%の見通しである。

### 中小企業の設備投資はつづく

中小企業金融公庫の中小製造業設備投資動向調査によると04年度実績は2年連続で増加し、1989年度の24・4%増以来の大幅な伸びとなった。

### 原油高が経営に影響

製造業における懸念材料の一番手は原油高。経済同友会の景気定時点観測アンケートでは原油高による原材料の高騰で、経営に影響が出ている製造業が7割。現在は企業努力で仕入れ価格の上昇分を吸収している状態。

# 日本計量新報

計測と科学  
日本計量新報社  
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
TEL:03-5561-1111 FAX:03-5561-1112

Yamaha  
業界初の振動除去機構を  
搭載で作業効率アップ  
デジタル式上皿自働はかり

### “UDS-1V/1VD”



天和衡術株式会社  
電話 078-918-8877

億円で、2カ月連続で減少。アジア向けなど輸出の伸びが鈍い一方、原油などの価格高騰により輸入額が大きく伸びたため、黒字幅が圧縮された。

### 休刊のお知らせ

7月3日号は休刊とさせていただきます。次号は7月10日号として発行致します。本紙は月4回の発行です。  
日本計量新報社

### 貿易黒字減少も原油高の影響が

5月の貿易統計(速報)では貿易黒字は前年同月比68・3%減の2970とつぎよりの計量  
④⑤⑧面

### 今週の主な記事

- 6月景況判断は引き続き回復傾向、休刊のお知らせ ①面
- 田中衡機工業所・福山匡社長インタビュー ②面
- 品質工学研究発表大会盛況 岡山県計量協会新会長 ③面
- 兵庫県書芸会開催、川崎市計量協会総会閉く、ほか ④面
- 特集「つぎよりの計量」 ⑤⑥⑧面
- 資料・(独)産業技術総合研究所平成17年度計画 ⑥面
- 私の履歴書・齊藤勝夫の、社説、計量とくちメモ ⑦面
- 新製品 コース・A&D、アタコ・メトラ・トレド ⑧面

## 85年の伝統と確かな技術

はかりや分銅の校正、ISOやGLPなどの計量管理に高いコストパフォーマンスでお応えします。

基準天びんと各種精密分銅の供給メーカー

株式会社 大正天びん製作所  
〒696-0931 茨城県下妻市高道祖4219-2  
TEL:(0296) 43-7021 FAX:(0296) 43-8150

1  
2  
3  
4  
5  
6